

2019年8月9日

報道関係者・刊行物編集者各位



(公財) 山階鳥類研究所
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115
電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106
<http://www.yamashina.or.jp>



第29回鳥学講座 開催のお知らせ

(公財) 山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館では、ジャパン・バード・フェスティバル2019(11月2日(土)・3日(日・祝)、我孫子市内)にあわせ、下記のとおり「第29回 鳥学講座」を開催します。貴媒体の紙面・番組でご紹介いただけますようお願いいたします。

「島の鳥類学—南西諸島の鳥をめぐる自然史—」

日時：2019(平成30)年11月2日(土) 午後13時30分～15時30分
(開場 13時00分)

場所：アビスタ(我孫子市生涯学習センター) 1Fホール(定員：120名)
千葉県我孫子市若松26-4

会場までの交通：JR常磐線 我孫子駅南口から「アビスタ・市役所経由」のバス
でアビスタ前下車すぐ。

参加費：無料(事前の申込みは要りません。先着順)

プログラム：

● 講演

高木昌興：北海道大学大学院理学研究院教授

「『島の鳥類学』の面白さ—リュウキュウコノハズクを例に—」

水田拓：山階鳥類研究所保全研究室長

「『南西諸島の鳥類学』の面白さ—オオトラツグミを例に—」

● ディスカッション

高木昌興・尾崎清明(山階鳥類研究所副所長)・水田拓

主催・問い合わせ：我孫子市鳥の博物館(電話04-7185-2212)、

(公財)山階鳥類研究所(広報担当 電話04-7182-1101)

ヤンバルクイナ、アカヒゲ、ルリカケス、リュウキュウコノハズク、オオトラツグミといった、鳥好きにとってあこがれの、そこでしか出会えない鳥たちが生息する南西

2019年8月9日

報道関係者・刊行物編集者各位

諸島。日本政府は、この島々の世界自然遺産への登録を目指しています。世界遺産に登録されることは、言い換えれば全人類の宝として公式に認められたということになるでしょう。今回の鳥学講座は、南西諸島の鳥類の魅力とその研究について、南大東島を中心にひろく南西諸島をフィールドに、リュウキュウコノハズクの生物地理をはじめ、さまざまな研究を続けている高木昌興さんと、奄美大島で生物多様性の保全に携わりながらオオトラツグミの生態研究を行い、今年の6月から山階鳥研保全研究室長に着任した水田拓の二人がお話します。2題の講演のあと、ヤンバルクイナの調査研究に、「発見」のときからかかわってきた尾崎清明・山階鳥研副所長も参加して、会場からの質問をいただいでディスカッションの時間も取りますのでぜひいろいろなお話ができればと思います。

鳥学講座は「ジャパン・バード・フェスティバル2019」（11月2日（土）、11月3日（日・祝））にあわせて開催します

鳥学講座 （公財）山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館が年に1回開催する講演会で、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらうものです。1992（平成4）年の第1回から、今年で29回目を数えます。2001（平成13）年にはジャパン・バード・フェスティバル（JBF）が始まり、その年（第11回）からはJBFにあわせて開催しています。

ジャパン・バード・フェスティバル （公財）山階鳥類研究所と我孫子市鳥の博物館の地元、我孫子市で年に1回開催される鳥と環境保護のお祭りで、今回で19回目を迎えました。我孫子市、我孫子市教育委員会、（公財）山階鳥類研究所、日本鳥類保護連盟ほか、NPO、団体、企業等が参加する実行委員会（実行委員長：奥野卓司・山階鳥類研究所所長）が主催しています。

【参考リンク】

ジャパン・バード・フェスティバル <http://www.birdfesta.net>

（公財）山階鳥類研究所 <http://www.yamashina.or.jp/>

我孫子市鳥の博物館 <http://www.city.abiko.chiba.jp/bird-mus/index.html>

この件についてのお問い合わせ先

（公財）山階鳥類研究所 広報コミュニケーションディレクター

平岡 考

tel: 04-7182-1101 e-mail: koho@yamashina.or.jp